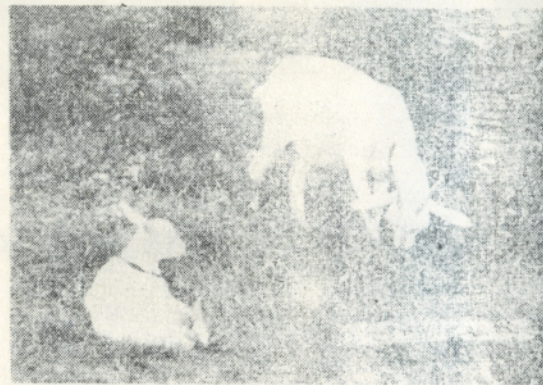


(青森県) 五 所 川 原 市 広 報

市政ニュース

毎月5.15.25日発行 第119号 一部2円
発行所 五所川原市役所 印刷所 青森民友新聞社



母子山羊

割つゆの
しとどな原に
母ときて
まるびたわむれ
草をはみ
いつしかたどる
夢まどか
嵐のそよぎに
目ざむれば
主のよぶ声
なつかしく
たそがれ空に
雲あかし

虫おくり大会を柱に

多彩な行事

市制施行十周年記念、市民文化会館落成を記念して

の五所川原夏まつりは五所川原市、五所川原商工会議所、五所川原市観光協会の主催により、八月三日から七日までの五日間、盛大に行なわれます

三日 行事は三日の記念式典に始まり、四日はことしはじめての虫おくり大会、ひきつづいて夏の夜空を彩とる花火大会、

五日からはネプタの運行、六日には五所川原おどり等多くの催しがあります

五所川原夏まつり行事

市制施行十周年記念・市民文化会館落成記念式典(午前十時、市民文化会館)

◆三 日
五所川原夏まつり行事
交通安全大パレード(午前九時三十分、市内)
市内学校音楽行進(午前十時、市内)
獅子舞(午後一時市内)
日本舞踊一二三発表会(午後一時市民文化会館)
農村慰安民謡手踊移動班(午前九時飯詰、中川、三好、松島、小曲地区)

10
10
夏まつり

◆四 日
虫おくり大会(午前十時市内)
西北五職業訓練所実技競技大会(午前十時、五中校庭)
棟方パレ研究所、高橋トミエ門下生ピアノ、対馬頼子門下生琴発表会(午前十時、市民文化会館)
花火大会(午後七時三十分岩木川岸)

◆五 日
西北五学校野外演奏会(午前九時市内(五中校庭))
登山ばやし(午前十一時永福神社)
大型農用機械パレード(午後一時、市内)

◆六 日
ネプタ運行(午後八時、市内)
五所川原おどり(午前九時市内(北斗グラウンド))
山羊共進会(午前九時、永福神社)
ネプタ運行(午後八時、市内)

◆七 日
西北五中学校、高校招待相撲大会(午前九時、五農相撲場)
ネプタ運行(午前十時、福井富士子パレ研究所)
夕ララ会ピアノ発表会(午

◆八 日
津軽錦石展示会(九時～四時、カメノヤホール)
◆九 日
宍生流県下謡曲大会(八時～二時、市民文化会館)
遺州流お茶の会(午前十時、市民文化会館)

◆会期中
前日
福井富士子パレ研究所、五所川原合唱団発表会(午後六時、市民文化会館)

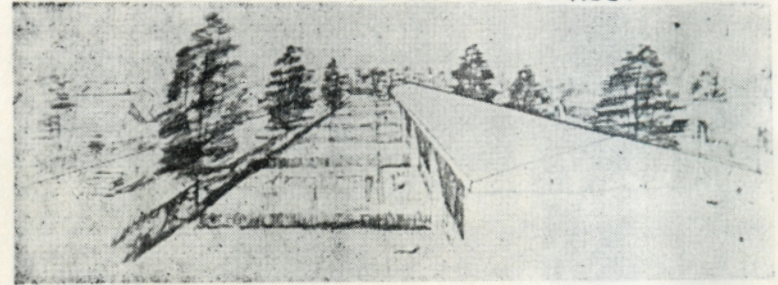
写真：弘前市御幸町の商業デザイナー、毛内吉之助氏による夏まつりポスター

まつしま団地

分譲希望うけつけ

と き 7月20日～31日
と ころ 市役所市民課住宅係

申込用紙は窓口に準備しております
印鑑ご持参の上おいでください



〇くわしくは市民課住宅係へ

続々と全員加入

国民年金 各部落で好調

すでに小曲、中泉、両部落が、全員加入を実現して、新記録をつくりましたが、市保険課のよびかけに答えて、その後、各部落での全員加入運動が非常に高まっております。

中川地区の田川では一六

二人、種井では七四人、松島地区の悪戸では七二人、七和地区の持子沢では二二人、〇人というように、国民年金の資格者全員が、一人残らず加入し、大きな反響をよんでおります。

夏休みのこどもの指導

健康の保持に注意

夏休みは、期間が長いことと暑い時期にあたるので学習にも、健康にもあまりよい時期ではありませんので、家庭では他の休暇とちがった留意が必要です。まず、健康の保持にじゆうぶ

ん注意して、こどもの年齢や平素の体力を考慮してできるだけ身体をきたえることがたいせつです。そのためには、規則的な生活をするように指導してください。

夏休みは自主的な学習活動をするにはよい機会ですが、一歩あやまると悪い習慣がついたり、不良化の種がまかれたりすることもありますので、適切な指導を行なうよう心がけてください。

①無理な計画をしないこと、しかし、計画したことは実行すること
②朝のうち一定時間までは学習時間をする事、そのため同学級とか、近所のこどもでグループを作つて学習するとか、こども会の

活動と適切に連携することも一つの方法
③毎日通学しているとき

にはできないような継続的な観察実験や製作をしたり平素おこなっている科目の勉強などを行ない、学習に対する自信をもつように指導すること

①暴飲、暴食や寝冷えに注意すること
②食前などの手洗いを励行すること

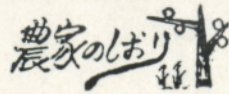
③学校医から注意されている病気などは、できるだけ夏休み中に治療すること

④水泳、登山などのほかにも危険防止と安全に注意すること
⑤一人一人の健康状態と能力に応じ指導すること

①自分の行為に責任をもたせるようにすること
②友達とか、こずかいの使い方や行動、持ち物にもたえず留意すること

③こども会などの校外活動には各家庭も協力しよう

(7月21日～31日)



〇稲作…穂ばらみ期の深水かんがいに万全を期し、幼穂の保護につとめる…

① 7月10日現在の生育測定では平年なみの生育を示しており、目下穂ばらみ期に入っているが、天候は予報通り寒暖の差は激しく、さる9日から11日までの最低水温は五所川原で16度、飯詰では14度となっております。最低気温17度以下では障害が懸念されますので梅雨あけまでは天候の動きに注意して、低温の日は12cm程度の深水とする。

②葉いもち病はやや多発の予想であり、7月末から8月始めに蔓延最盛期となる見込みですから、早期発見と早期防除の徹底につとめる。

③ニカメイ虫も発蛾量はやや多目になるものと思われるので、防除は出穂の10前と出穂始めから出穂期にかけての2回薬剤撒布を励行する。

〇やさい…秋やさい種まきの準備をする…

①秋やさいの播種予定地には、とくに堆肥と土の酸性を中和するための石灰類(消石灰で10a当り100kg内外)の施用を忘れないようにする。

②白菜は、播種期と軟腐病の発生と密接な関係があるから充分注意する。一般に早まきは軟腐病が多いから早中生種は8月10日頃、晩生種は8月5～6日頃に種まきをする。

③大根は、練馬系は8月10頃、宮重系は8月15日頃に播種する。宮重大根は熟期が早く「ス」が入りやすいから種まきは早過ぎないようにする。

④ナス、トマトの疫病、うり類のべト病にはダイセンか、マンネブダイセンまたは、オーソサイド400倍を5日～7日おき位に撒布する。

(農業改良普及所)